

令和7年度



しもよねだ

第11号

令和8年1月30日(金)

地域に学ぶ

校長 安藤 由美子

<高校生の姿から>

今年新たに、可茂特別支援学校高等部との連携を始めました。今までにない若い年代との交流です。3日間、高校生がビルクリーニングの実習に訪れ、廊下と窓の清掃をしてくれました。児童の感想を紹介します。

「高校生のお兄さん、お姉さん、廊下をピカピカにしてくれてありがとうございました。とっても真剣にやっていたので、まねをしてみたいなと思いました。お掃除のプロはすごいですね。」



高校生のビルクリーニング実習

きれいにしていただけたこととともに、清掃に向かう姿が子ども達に響いたようです。高校生からは、「みんなに『ありがとう』『すごいね』と言ってもらえて嬉しかった。」という言葉をもらいました。来年は、清掃に加えて花壇づくりでの連携も検討中です。

<地域の方から>

挨拶は、今年度こだわってきた活動の一つです。元気に挨拶できる子が増えてはきたものの、まだ挨拶を返せない子もいるという話になった時、あるサポーターさんが次のように話してくださいました。

「挨拶を返してくれん子はおるよ。それもその子の個性や。でも、だから私ら大人が挨拶しんというのはおかしい。たとえ返せんでも、挨拶はその子の心に届いとる。それで少しでも安心してくれればいい。子どもの頃はわかつとってもできん時もある。そういう思いで地域が子どもを育てれば、そういう大人になるやろ。」

学校教育は、1時間の授業、1年間の学年といった区切られた時間の中で達成すべき目標をもつものです。それとは異なり、長い時間をかけて行われるのが、地域での教育です。双方がうまく連携していくと、子どもの成長は加速します。地域の懐の深さに感謝しつつ、来年度も喜びを味わえる活動を増やしていくと改めて思いました。